

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらいてらす		公表日 2024年12月20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		一人当たり3平方メートル以上確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		毎月、人員配置と常勤換算を確認しているので適切である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		施設内は全てバリアフリー化されている 障害特性に合わせて視覚ツールを用いている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎朝の清掃、おもちゃ等の消毒を毎日行っている。ソファ等があり休憩できるスペースを設けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		集中したい時、職員と個別に関わる時、クールダウンをする時に個室を使用できているので特に問題なし	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・朝のミーティングや毎月職員会議やケース会議を開催し、参加できなかった職員にも周知できるよう、申し送り記録や会議録で情報共有を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表アンケートを実施することによって、保護者の意見に耳を傾け、改善点を考えている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝のミーティング、年に2回の個人面談をし課題や業務改善に努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価はおこなっていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修を行い資質の向上に努めている 年間計画を立てて毎月、研修を実施している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	支援については特性、状況に応じた計画がされている	今年度中に支援プログラムを作成、公表する予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		毎月のケース会議、年2回のモニタリング、計画書作成前の保護者へのアンケート実施、保護者との面談、個別支援会議を行い個々に合った計画書を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員間での話し合いの場があり、最善の支援計画を作成するように努めている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		情報は職員間で共有し支援を行っている 個別支援計画書を書庫の見やすい場所に置き、計画に沿った支援が全員理解出来るように努めている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	標準化したツールは使用していない	今後実施出来るように検討していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		適切に設定し個別支援計画書に記載されている	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	日替わりでリーダーの職員が中心となり活動内容を提案し、職員間で意見しながら立案している。また、長期休みのプログラムも同様に立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		週案を立てながら活動プログラムを立案し、新しい活動を取り入れたり、内容を改良しながら固定化しないように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の課題に応じて細やかな設定を行い、集団活動と個別活動を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝のミーティング時に1日の予定や活動内容と役割分担を全職員で確認している。参加できなかった職員にも周知出来るよう、申し送り記録で確認できるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援終了後には緊急な場合のみ行うが、振り返り、気付いた点は朝のミーティング時に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		担当者がケース入力し、ケース会議では支援について話し合い改善している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		年2回必ずモニタリングを行い支援計画書の見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせながら支援を行っているか。	6		児童の状況に合わせて4つの基本活動を組み合わせながら支援出来ている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		宿題など自分のやりたい時間が選択できるように支援している	自己選択がまだできない児童もいるのでできるようにするための支援方法を検討する
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		障害福祉、保育園、学校との連携はできている。困りごと等があればすぐに相談できる体制は整っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		児童の支援に関わってくるので、しっかりと情報共有を行っている 何かあれば学校に電話にて確認、また学校のお便り等があるので確実に下校時間の確認が行われている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		担当者会議に参加し情報共有している。また困りごとがあれば電話にて確認している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	まだ障害福祉サービスに事業所に移行していないが、今後支援内容等の情報共有する準備は整っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	現在は設けていない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	長期休業の際には中高生のボランティアを受け入れ交流する機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	機会がある時は必ず参加している 参加できるように人員を多く配置している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		利用日には必ず連絡帳と送迎時に事業所での様子を伝えている。また必要に応じて電話やLINEなどで詳しく伝え、児童の共通理解に努めている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を行っていないが、保護者会を開催し相談等に対応している		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規程は玄関先に誰でも閲覧できるようにしている。また、利用者負担、支援プログラムに関しては契約時に対面にて説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画書の作成時には、丁寧に面談する時間を設けて対応している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		対面にて説明して同意のサインをもらい1部保護者へ渡している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		午前中などの時間を設けて相談援助を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		保護者の交流は保護者会の開催で提供しているが兄弟同士での交流の支援は現在のところない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情対応マニュアルに沿って対応している。契約の際も丁寧に説明している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		みらいてらす通信を毎月発行している。また活動内容をInstagramにて公開している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		職員は個人情報の取り扱いについて誓約書にサインしている。また、個人情報は鍵付き書庫にて厳重に保管し持ち出しは禁止している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		保護者や学校からの聞き取りで特性を把握して児童と意思の疎通を図りやすくしている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	保護者会主催のマルシェにて地域住民等を招待している		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは作成して職員全員に回覧して押印し、活用している	今後はデジタルツールを遣い活用出来ないか検討中
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画に従い、計画的に実施している担当を決めて災害時職員に混乱が起きないようにできている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に必ず確認し、年に1度は保護者に情報を更新していただき、確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	食物アレルギーについてはデジタル媒体にて職員が確認できるようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し公表、計画に沿って研修、訓練、点検等を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		ホームページ、玄関に閲覧出来るように置き、見れるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット会議を行い共有し再発防止対策を月1回行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に虐待防止委員会を行い、職員の意識改革を行っている年間計画に基づき対応している。また、管理者の外部研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		組織的には周知出来ているが保護者に事前説明をしたことはない身体拘束研修、身体拘束委員会にて理解し、保護者に説明できるようにしている		